

平成22年度名張市考査委員会 公開ヒアリング対象事務事業シート

平成22年8月6日(金)

【目次】

開始予定時刻	部名称	室名称	シートNo.	事務事業名	ページ
9:30 ~	都市整備部	都市計画室	1119	公共交通対策事業	1
9:55 ~		維持管理室	5025	道路維持費	3
10:20 ~		維持管理室	5034	公園管理費	5
10:45 ~	(休憩)				
11:00 ~	都市整備部	建築開発室	6089	建築開発指導事務費	7
11:25 ~		市街地整備室	5031	旧細川邸やなせ宿等維持管理費	9

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	1102	(H.22)No.	1119
-----------	------	-----------	------

事務事業名	公共交通対策事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	都市計画室	雪岡 太	63-7749
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 15 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	1	交通対策
	小施策	3	公共交通の充実
重点施策コード	4-4.コミュニティ交通の充実		

2. 予算区分

会計区分	事業コード	382001
一般会計	(中事業名)	
款 土木費	公共交通対策事業	
項 土木管理費	(小事業名)	
目 交通対策費	公共交通対策事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
交通不便地域において地域コミュニティバス事業等の導入、推進を図るとともに、コミュニティバス「ナッキー号」と「あららぎ号」の運行を行う。	

めざす効果(事業目的)
交通不便地域の解消や、自家用車やバイクなどの移動手段を持たない交通移動不便者の移動手段の確保を推進し、だれもが不自由なく移動できる持続可能な交通システムの構築を目指す。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
主な事業の実績・計画	報償費(地域公共交通会議、1回・11人報酬ほか)99千円 旅費(運輸局出張等)9千円 需用費(あららぎ号等消耗品、あららぎ号点検・タイヤ交換等)237千円 役務費(あららぎ号任意保険料)141千円 委託料14,320千円(あららぎ号運行委託料2,802千円、ナッキー号運行委託料11,518千円)	報償費(地域公共交通会議4回・12人報酬ほか)392千円 旅費(運輸局出張等)16千円 需用費(あららぎ号等消耗品、あららぎ号点検・タイヤ交換等)465千円 役務費(あららぎ号任意保険料、郵便料)180千円 委託料14,775千円(あららぎ号運行委託料2,675千円、ナッキー号運行委託料12,100千円) 原材料費(コミュニティバス停留所看板材料)24千円	コミュニティバス「ナッキー号」と「あららぎ号」の運行委託 地域公共交通会議等の報酬 あららぎ号の買替	コミュニティバス「ナッキー号」と「あららぎ号」の運行委託 地域公共交通会議等の報酬	コミュニティバス「ナッキー号」と「あららぎ号」の運行委託 地域公共交通会議等の報酬
事業費 (千円)	14,804	15,852	19,852	15,852	15,852
の 財 源 内 訳	国庫支出金		2,200		
	県支出金	1,432	2,332	1,432	1,432
	地方債				
	その他(使用料)	517	420		
一般財源	12,855	14,932	15,320	14,420	14,420
人工数	職員(人)	0.70	0.70	0.70	0.70
	臨時職員等(人)		0.10	0.10	0.10
人件費 (千円)	5,110	5,280	5,280	5,280	5,280
総費用 + (千円)	19,914	21,132	25,132	21,132	21,132

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24	
成果指標	目標	公共交通など市内の交通環境に満足している市民の割合	%	-	-	-	-	41.0
	実績			39.4	40.4			
活動指標	目標	コミュニティバス「ナッキー号」の1日平均乗降客数	人	-	-	-	-	194
	実績			185	187			
	目標							
	実績							
考察及び今後の対応方針		地域コミュニティ交通推進方針に基づき、関係地域における地域コミュニティバス等の導入、ナッキー号の料金改定等についても検討を進める必要がある。						

6. 事業を取り巻く環境

<p style="text-align: center;">事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の高齢化率の推移(65歳以上の総人口に占める割合)平成20年18.68%、平成30年20.15%(市推計) ・団塊の世代が定年を迎え、路線バスの利用が減少している。今後地域でのコミュニティバスの関心が高まることが予想される。 ・国においては、交通格差社会の進展を見据え、移動権の保障等を根幹に交通基本法の制定が進められている。 	<p style="text-align: center;">市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見</p> <p>高齢化により今後ますます増加する交通移動不便者の移動手段確保に向けた取組が求められている。</p>
--	---

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1)協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄
協働等は実践していますか	協働等の主な相手先について	
実践している(^)	その他団体(^)	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について	
委託 [業務量の50%以上相当] (^)	拡大推進	
(2)現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか		
現在の手法が妥当である。		
(3)事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか		
現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である		
(4)新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか		今後の国・県の動向を見守りながら、補助制度等の活用を検討。
検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)		
(5)その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか		委託先との役割分担を図りながら利用促進のための取組について検討。
検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行どおり)(理由 (2)へ)	
(1)短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
美旗地域、赤目地域においてコミュニティ交通を導入し交通不便地域の解消を図るため、それぞれの地域と連携を図りながら早期の実証運行を目指す。	
(2)継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など	
当市においては、今後急激に高齢化が進行し、運転免許を更新しないなど交通移動不便者が増加することから、名張市地域コミュニティ交通推進方針に基づき、協働・連携による効率的で利便性の高い新たな地域交通システムの構築を推進する。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.		(H.22)No.	5025
-----------	--	-----------	------

事務事業名		道路維持費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
都市整備部		維持管理室		山岡寛明	63-7681
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	3	快適な道路環境の形成
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分		事業コード	391501
一般会計		(中事業名)	
款	土木費	道路維持費	
項	道路橋梁費	(小事業名)	
目	道路維持費	道路維持費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
生活道路の安全性向上を図るため、適切な維持管理を進めます。	

めざす効果(事業目的)	
生活道路の整備により、快適な道路環境の形成に努めます。	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)																				
	主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] ・H21現年分 市道除草作業委託:79路線 街路樹剪定作業委託:24件 地域等への委託:27件 (除草、剪定) 市道緊急補修工事:172件 道路施設修繕:61件 側溝清掃等:9件 雪氷対策 年間施設維持管理業務等 <H22年度への繰越明許費 20,701千円>	[事業内容(事業量)・事業費] 市道除草作業委託:16,500千円 街路樹剪定作業委託:7,500千円 地域等への委託:5,500千円 (除草、剪定) 市道緊急補修工事:随時 道路施設修繕:随時 側溝清掃等:随時 雪氷対策 年間施設維持管理業務等	<table border="1"> <tr> <td colspan="3">現在の実施手法(複数選択可)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">市が直接実施</td> </tr> <tr> <td colspan="3">業務委託(全部・一部)により実施</td> </tr> <tr> <td colspan="3">指定管理</td> </tr> <tr> <td colspan="3">補助金・交付金</td> </tr> <tr> <td colspan="3">その他 ()</td> </tr> </table>			現在の実施手法(複数選択可)			市が直接実施			業務委託(全部・一部)により実施			指定管理			補助金・交付金			その他 ()	
現在の実施手法(複数選択可)																							
市が直接実施																							
業務委託(全部・一部)により実施																							
指定管理																							
補助金・交付金																							
その他 ()																							
事業費(千円)	85,974	61,482	90,000	95,000	100,000																		
の 財 源 内 訳	国庫支出金																						
	県支出金																						
	地方債																						
	その他(諸収入)	371	382	380	380	380																	
一般財源	85,603	61,100	89,620	94,620	99,620																		
人工数	職員(人)	0.45	0.55	0.55	0.55	0.55																	
	臨時職員等(人)																						
人件費(千円)	3,285	4,015	4,015	4,015	4,015																		
総費用+(千円)	89,259	65,497	94,015	99,015	104,015																		

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
 平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24	
成果指標	目標	市内の道路整備が進み、移動しやすくなったと 感じている市民の割合	%		47.9	48.3	48.7	49.0
	実績			47.5	46.0			
	目標							
	実績							
考察及び今後の 対応方針	引き続き、生活道路等の維持管理を進めます。							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
厳しい財政状況の中で、緊急性や地域性を総合的に考慮した適切な維持管理を進めていく。	高齢者が増える中、安心して通行できるよう、道路の補修、草刈等の要望が増加してきている。

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)

協働等は実践していますか 実践している(へ)	協働等の主な相手先について 地域づくり組織等(へ)
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 補助・助成(へ)	協働等の今後の取組について 拡大推進

(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)	備考欄 地域団体等との協働を拡大推進
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行どおり)(理由 (2)へ)	特記事項
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など 老朽化施設が増え、今後の財源確保について検討が必要。	

(様式1)
事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(平成22年7月作成)

(H.21)No.		(H.22)No.	5034
-----------	--	-----------	------

事務事業名	公園管理費		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	維持管理室	山岡 寛明	63-2151
新・継	事業期間	根拠法令等	
	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	1	魅力的な都市環境づくり
	施策	4	水と緑のまちづくり
	小施策	1	緑豊かなまちづくり
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	412001
一般会計	(中事業名)	
款 土木費	公園管理費	
項 都市計画費	(小事業名)	
目 公園管理費	公園管理費	

3. 事務事業の概要

事業概要
・市民が憩える都市公園165箇所及び住宅団地内の緑地の維持管理を行います。

めざす効果(事業目的)
・住民が、美しい自然に包まれ、憩いと潤いのある、健康に暮らしていける空間づくりをめざします。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	・公園維持管理作業等委託料 44,545千円 ・公園維持補修等工事費 8,218千円 ・需用費、役務費、その他 < H22年度への繰越明許費 工事請負費5,000千円 >	・公園維持管理作業等委託料 48,000千円 ・公園維持補修等工事費 8,500千円 ・需用費、役務費、その他	補助金・交付金	その他 ()	
	平成23年度(計画)	平成24年度(計画)	平成25年度(計画)		
事業費 (千円)	58,725	57,623	57,000	57,000	57,000
の財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他()				
一般財源	58,725	57,623	57,000	57,000	57,000
人工数	職員(人)	0.43	0.58	0.55	0.55
	臨時職員等(人)	0.01	0.35		
人件費 (千円)	3,156	4,829	4,015	4,015	4,015
総費用 + (千円)	61,881	62,452	61,015	61,015	61,015

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	%	70.8	69.4	72.8	73.4	74.0
	実績			70.8	72.2		
活動指標	目標	%	79.9	80.4	80.9	81.4	82.0
	実績			79.9			
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針		地域等との連携により引き続き適切な維持管理に努める。					

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
・市民が自由に憩いの場、交流の場として利用できるように、地域の特性をいかした公園づくりが必要。	・草刈り、樹木の剪定等についての要望や遊具等の補修が求められている。

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)

協働等は実践していますか 実践している(^)	協働等の主な相手先について 地域づくり組織等(^)
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 委託 [業務量の50%以上相当] (^)	協働等の今後の取組について 拡大推進

	備考欄
(2) 現在の事業費の範囲で効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか できる(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)	利用者の増加を図るため、補助事業を活用し遊具等の更新を実施する。
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)	国、県の動向を見据えながら、新規の補助事業等を模索する。
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)	地域づくり組織等との連携を図る。

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行どおり)(理由 (2) ^)	
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など	
地域等への委託の継続、推進を図る。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	(H.22)No.	6089
-----------	-----------	------

事務事業名		建築開発指導事務費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
都市整備部		建築開発室		谷川 恵一	63-7698
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	1	魅力的な都市環境づくり
	施策	1	土地利用
	小施策	2	開発指導
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分		事業コード	411301
一般会計		(中事業名)	
款	土木費	建築開発指導事務費	
項	都市計画費	(小事業名)	
目	都市計画総務費	建築開発指導事務費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
特定行政庁の円滑な運営 土地利用の誘導と開発指導要綱の運用 建築協定及び地区協定の運用 狭あい道路整備等促進事業の推進 被災建築物の応急危険度判定の運用	

めざす効果(事業目的)	
建築物に対し、建築主事を置く限定特定行政庁として、また県との連携により法律等による指導等を行うこと、開発行為に対し、県との連携により法律等による指導等を行なうこと、及び建築協定・地区計画による指導等を行なうことにより、住みよいまちづくりの形成(防災、福祉、まちの活力)の増進に資することを目的とする。	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)				
			平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)		
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] 建築確認申請件数 120件、 工作物 7件 完了検査件数 108件 長期優良住宅認定 25件(6/4~3/31) 建設リサイクル法届出・受付・審査 44件 建築一般・道路相談 102件 建築協定による届出の受付・審査(21件) 地区計画による届出の受付・審査(23件) 中高層建築物・集合住宅届出の受付・審査(15件) 開発指導要綱に関する申請の受付他 12件 名張市住宅地造成事業等に関する指導要綱等の見直し	[事業内容(事業量)・事業費] 建築確認申請の受付・審査 完了検査申請の受付・審査・検査 長期優良住宅認定申請の受付・審査 建設リサイクル法届出・受付・審査 建築一般・道路相談 建築協定による届出の受付・審査 地区計画による届出の受付・審査 中高層建築物・集合住宅届出の受付・審査 開発指導要綱に関する申請の受付他 省エネ法審査 6/1~	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金	その他 ()
	特定行政庁の円滑な運営等を行うため、消防、三重県との綿密な事務協議を図る	特定行政庁の円滑な運営等を行うため、消防、三重県との綿密な事務協議を図る	特定行政庁の円滑な運営等を行うため、消防、三重県との綿密な事務協議を図る	1,074	1,074	1,074	
	事業費(千円)	1251	1594	1,074	1,074	1,074	
	の財源内訳						
	国庫支出金						
県支出金	98	92	92	92	92		
地方債							
その他(手数料)		1	1	1	1		
一般財源	1153	1501	981	981	981		
人工数							
職員(人)	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40		
臨時職員等(人)	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90		
人件費(千円)	19,050	19,050	19,050	19,050	19,050		
総費用+(千円)	20,301	20,644	20,124	20,124	20,124		

人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	%	-	-	-	-	62.0
	実績		58.9	64.2			
成果指標	目標						
成果指標	実績						
考察及び今後の対応方針	景気の低迷による建築確認等の件数が減少しているが、競売物件や建築困難な敷地等の問い合わせの増加に対応する的確な行政指導を行う。						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
狭あい道路整備は、防災・福祉・活力など住宅市街地のまちづくりの重要な課題であるため、国の補助事業として制度化されたため、対策期限内に取り組む必要がある。	・建築確認申請許可の期限内厳守(建築士事務所協会伊賀支部) ・狭あい道路の整備(宅地建物取引業協会名張支部ほか)

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄
協働等は実践していますか <input type="text" value="一部実践している(^)"/>	協働等の主な相手先について <input type="text" value="事業者(^)"/>	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) <input type="text" value="その他(^)"/>	協働等の今後の取組について <input type="text" value="継続実施"/>	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか <input type="text" value="現在の手法が妥当である。"/>		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか <input type="text" value="現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である"/>		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか <input type="text" value="新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である"/>		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか <input type="text" value="困難である"/>		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) <input type="text" value="継続(現行どおり)(理由 (2)へ)"/>	特記事項
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など 	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など 狭あい道路整備等促進事業が国の補助事業として創設され、「指定道路図」及び「指定道路調書」の整備する計画を進めるため実施計画書を策定し、国の補助期限内に整備する。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	(H.22)No.	5031
-----------	-----------	------

事務事業名	旧細川邸やなせ宿等維持管理費		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	市街地整備室	富岡 重之	63-7784
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 20 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	1	魅力的な都市環境づくり
	施策	3	市街地整備
	小施策	1	中央部のまちづくり
重点施策コード		4-3	魅力ある市街地の形成

2. 予算区分

会計区分	事業コード	410601
一般会計	(中事業名)	
款	土木費	旧細川邸やなせ宿等維持管理費
項	都市計画費	(小事業名)
目	都市計画総務費	旧細川邸やなせ宿等維持管理費

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>名張の原風景のひとつである初瀬街道沿いの町並みは、当時の面影を残す地域の歴史資源であります。町屋改修の規範として、また名張地区既成市街地に訪れるきっかけづくりや来訪者をおもてなしする場として必要な事業(情報発信、飲食、物販等)を実践することを目的とするやなせ宿の維持管理を行う。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>やなせ宿の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の積極的な情報発信に関する事。 ・地域住民や来訪者の交流、集客の向上を目的とする事業にかんすること。 ・地域物産の振興に関する事。 ・町屋としての空間を活用し、魅力を高める活動に関する事。 ・自主的かつ自立的なまちづくりの推進に関する事。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・需用費 733千円 ・役務費 338千円 ・施設維持管理等委託料 2,550千円 ・備品購入費 500千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・需用費 755千円 ・役務費 373千円 ・施設維持管理等委託料 2,569千円 ・備品購入費 46千円 	補助金・交付金		
	<ul style="list-style-type: none"> ・需用費750千円 ・役務費370千円 ・施設維持管理等委託料 2,569千円 ・備品購入費 11千円 	指定管理者制度導入予定			
事業費 (千円)	4,121	3,743	3,700	5,800	5,800
の 財 源 内 訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他(使用料)	818	773		
一般財源	3,303	2,970	3,700	5,800	5,800
人工数					
職員(人)	0.73	0.44	0.44	0.10	0.10
臨時職員等(人)		0.22	0.22	0.05	0.05
人件費 (千円)	5,329	3,586	3,586	815	815
総費用 + (千円)	9,450	7,329	7,286	6,615	6,615

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	中心市街地に魅力があると感じる市民の割合	%	57.2	53.7		60.0
	実績						
成果指標	目標	やなせ宿の入館者数(延べ)	人	17,000	35,400		85,100
	実績						
成果指標	目標	再び、名張地区既成市街地を訪れてみたいと感じた人の割合	%	36.0	75.0		39
	実績						
考察及び今後の対応方針		・やなせ宿の入館者数は、順調に増加している。 ・既成市街地を訪れてみたいと感じた人の割合は、今後、調査方法の検討が必要。					

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
・名張まちなか再生プランを中心とした公共政策を実現する公の施設として管理・運営できる体制を構築することが市民自らの手による地域まちづくりの展開へとつながる。	・名張らしさを活かすまちづくりを行い、一定の収益を生み出すことにより長期継続のできる施設としての管理運営が必要。

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		
協働等は実践していますか 実践している(へ)	協働等の主な相手先について 地域づくり組織等(へ)	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 実行委員会・協議会設置(へ)	協働等の今後の取組について 継続実施	
		備考欄
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(事務改善)(今後の展開方法 (1)・(2)へ)	・平成24年度より指定管理者制度の導入予定。
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など ・指定管理者制度の導入に向けての体制構築を図る。	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など ・まちなか再生の発展的な取り組み、交流拠点施設としての施設稼働・サービス向上。	